

# 手描きアニメの粋を集めて

第11回となる本講座は、三鷹の森ジブリ美術館で開催中の企画展示「君たちはどう生きるか」展との連動企画です。

日程・テーマ・講師

毎週火曜日 19:00-20:30

第1回 11/26

「君たちはどう生きるか」展を作りながら考えたこと

講師：宮崎吾郎 聞き手：北山萌夏（三鷹の森ジブリ美術館 学芸員）

第2回 12/3

鉛筆を使い手で描かれた「君たちはどう生きるか」の作画

講師：本田雄、山下明彦 聞き手：齊藤睦志

第3回 12/10

「君たちはどう生きるか」の背景美術はどのように描かれたのか

講師：武重洋二、吉田昇 聞き手：齊藤睦志

第4回 12/17

手描きアニメの未来

講師：押山清高、井上俊之 聞き手：高瀬康司

全4回  
通し受講のみ

要 事前登録・申込

原則としてすべての回に参加できることが条件です。

会場及び定員：①三鷹ネットワーク大学 40人 ②オンライン 60人（いずれも先着制）

受講料（全4回分）：①会場参加 3,000円ほか ②オンライン 1,500円

お問い合わせ 三鷹ネットワーク大学推進機構

〒181-0013 三鷹市下連雀3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階

電話 0422-40-0313

お申し込み

①会場参加 **11月5日（火）9:30～** 三鷹ネットワーク大学 HP からお申し込みください。

URL <https://www.mitaka-univ.org/kouza/C2453700>

②オンライン参加 **11月12日（火）9:30～** Peatixからお申し込みください。

URL <https://mitaka-ab20241126.peatix.com>

①②いずれも申込締切 11月24日（日）17:00 ※定員に達し次第受付終了。

①会場受講の申込はこちら

②オンライン受講の申込はこちら (Peatix)



## 講座趣旨

第11回となる本講座は、三鷹の森ジブリ美術館で開催中の企画展示「君たちはどう生きるか」展との連動企画です。

宮崎駿監督の最新長編映画「君たちはどう生きるか」が2023年7月に公開され、同年11月から、三鷹の森ジブリ美術館では「君たちはどう生きるか」展 第一部 イメージボード編を、続いて2024年5月から第二部 レイアウト編を開催しました。そして、11月23日（土）からは第三部 背景美術編が始まります。

これらの展示は、三鷹の森ジブリ美術館の初代館長でもある宮崎吾朗監督が企画・監修しました。デジタル化が進むアニメーションの現場では近年稀となった、作画も美術も、ほぼすべて紙に鉛筆や絵具で描くという手法を取ったことで、絵が「モノ」として残っていることに着目したといえます。

講座の第1回では、そんな宮崎吾朗監督が展示を作りながら、映画について分かったこと、その上で昨今のアニメーションについて考えたことを語っていただきます。

第2・3回は、映画制作のメインスタッフをお招きし、7年という歳月をかけて作られた「君たちはどう生きるか」の技術や表現について、作画の視点、背景美術の視点から語っていただきながら、宮崎駿監督が目指した理想について明らかにします。

第4回は「手描きアニメの未来」と題し、押山清高監督と井上俊之さんをお招きします。「君たちはどう生きるか」「ルックバック」両作品に携わり、さまざまな技術が入り乱れる制作現場をよく知るお二人に、アニメーションの将来について広く語っていただきます。

## 講座開催概要

日 程	2024年11月26日、12月3・10・17日 火曜日 ※原則すべての回に参加できることが条件。
時 間	午後7時～8時30分
会 場 及 び 定 員	会場:40人 三鷹ネットワーク大学 オンライン:60人※Web会議システム Zoom 及びインターネット環境をご自身で用意し、ご自宅などからご覧ください。 (いずれも先着制・要事前申し込み)
回 数	全4回(通し受講のみ)
受講料 (全4回分。 一括支払)	【会場】一般 3,000円 市民 2,400円 市民学生 1,800円 会員 1,500円 ※初回窓口支払。 【オンライン】1,500円※Peatixで申込・決済。
難易度	★★★
申し込み (先着制。 要事前登録・申込。)	【対面受講】 Webにて 申込期間:11月5日(火) 午前9時30分～11月24日(日) 午後5時 <a href="https://www.mitaka-univ.org/kouza/C2453700">https://www.mitaka-univ.org/kouza/C2453700</a> 【オンライン受講】 Peatixにて 申込期間:11月12日(火) 午前9時30分～11月24日(日) 午後5時 <a href="https://mitaka-ab20241126.peatix.com">https://mitaka-ab20241126.peatix.com</a>



## 「君たちはどう生きるか」展を作りながら考えたこと

講師：宮崎吾朗 聞き手：北山萌夏（三鷹の森ジブリ美術館 学芸員）

第1回  
11月26日

「君たちはどう生きるか」展は、これまでの三鷹の森ジブリ美術館の企画展示としては異色の絵と短いキャプションだけで構成された所謂“美術館的”な展示です。このような構成にしたのは、絵を一点一点見てほしいという宮崎吾朗監督の思いからでした。デジタル化が進んだ現在、制作過程で生まれたものがデータではなく、「モノ」として残ることは少なくなりました。アニメーション映画監督であり、ジブリの世界を具現化させたジブリパークの監督でもある宮崎吾朗監督が、イメージボードや全1,259カットのレイアウト、背景美術を一枚一枚見て、何を受け取り、考えたのか、お聞きしたいと思います。

<p><b>第2回</b> 12月3日</p>	<p><b>鉛筆を使い手で描かれた「君たちはどう生きるか」の作画</b> 講師：本田雄、山下明彦 聞き手：齊藤睦志</p> <p>「君たちはどう生きるか」で描かれた原画や動画の作画枚数は、約14万枚にもなります。その作画のほとんどすべてが、アニメーターたちの手によって鉛筆で描かれました。ここでは、そのアニメーターたちが描いた原画を統括する作画監督を務めた本田雄さんと、250カット近くを担当し、宮崎駿監督からの信頼も厚いアニメーターの山下明彦さんに、ジブリ以前の仕事から「君たちはどう生きるか」までの話を伺います。「君たちはどう生きるか」の作画については、実際に使われたカットの原画やレイアウトなどを参照しつつ、現役アニメーターならではの、具体的なエピソードを聞いていきます。</p>
<p><b>第3回</b> 12月10日</p>	<p><b>「君たちはどう生きるか」の背景美術はどのように描かれたのか</b> 講師：武重洋二、吉田昇 聞き手：齊藤睦志</p> <p>現在、アニメーションの背景美術はパソコンやタブレットなどで描かれることが多いのですが、「君たちはどう生きるか」では、1,200カット以上の背景画のほとんどが、紙とポスターカラーによる“手描き”で描かれています。ここでは、「君たちはどう生きるか」で美術監督を務めた武重洋二さんと、「崖の上のポニョ」で美術監督を務め、「君たちはどう生きるか」でも重要なシーンの背景美術を担当した吉田昇さんに話を伺います。ジブリ作品における背景美術がどのようにして描かれるのかを、いくつかの背景画を取り上げて、具体的に解説してもらいます。</p>
<p><b>第4回</b> 12月17日</p>	<p><b>手描きアニメの未来</b> 講師：押山清高、井上俊之 聞き手：高瀬康司</p> <p>第4回は「手描きアニメの未来」と題し、アニメーション映画「ルックバック」の押山清高監督とカリスマアニメーターの井上俊之さんをお呼びし議論していただきます。お二人は、ほぼ紙と鉛筆による「手描き」で作られた「君たちはどう生きるか」に参加されただけでなく、「ルックバック」ではデジタル技術を取り入れつつも原画の描線のニュアンスを活かした表現で注目を集めました。そんな「手描きアニメ」の魅力を受け継ぎつつ、最新テクノロジーを活用した現場での経験も豊富なお二人に、「手描きアニメの未来」について、世代、作風を超えた幅広い視点から語っていただきます。</p>

#### 登壇者紹介（敬称略）

#### 宮崎 吾朗（みやざき ごろう） アニメーション監督

1967年東京都生まれ。信州大学農学部森林工学科卒業後、建設コンサルタントとして公園緑地や都市緑化などの計画、設計に従事。その後98年より三鷹の森ジブリ美術館の総合デザインを手がけ、01年より初代館長をつとめる。アニメーション監督として「ゲド戦記」(06)、「コクリコ坂から」(11)、「山賊の娘ローニャ」(14)、「アーヤと魔女」(20)などを手がける。また24年3月に5エリアが開園した愛知県のジブリパークの監督として、制作全体を指揮した。

#### 本田 雄（ほんだ たけし） アニメーター

1968年石川県生まれ。アトリエ戯雅で動画デビュー後、ガイナックスのテレビシリーズ「ふしぎな海のナディア」(90)で初めて作画監督を務める。その後マッドハウスで「千年女優」(01)、「電脳コイル」(07)に参加、Production I.G等でも活動。カラーにて「エヴァンゲリオン新劇場版：Q」(12)の総作画監督、日本アニメ（ーター）見本市「西荻窪駅徒歩20分2LDK敷礼2ヶ月ペット不可」(14)で原案・キャラクターデザインを務める。スタジオジブリ作品では「ゲド戦記」(06)、「崖の上のポニョ」(08)、三鷹の森ジブリ美術館オリジナル短編アニメーション作品「パン種とタマゴ姫」(10)で原画、「毛虫のボロ」(18)で作画監督を担当。現在はスタジオジブリに所属。宮崎駿監督の最新作「君たちはどう生きるか」(23)にて作画監督を務めた。24年アニメ賞で長編作品キャラクター・アニメーション賞を受賞。

## 山下 明彦（やました あきひこ） アニメーター

1966年岡山県生まれ。80年代からアニメーターとして活動。OVA作品「ジャイアント・ロボ THE ANIMATION—地球が静止する日」(92～98)でキャラクターデザイン・絵コンテ・作画監督を務めたのをはじめ、数々の作品で活躍。スタジオジブリ作品では「千と千尋の神隠し」(01)での原画が初参加。その後「ハウルの動く城」(04)、「ゲド戦記」(06)、「崖の上のポニョ」(08)、「借りぐらしのアリエッティ」(10)など、各作品で重要な役割を果たしている。三鷹の森ジブリ美術館オリジナル短編アニメーション作品「ちゅうずもう」(10)で初監督。スタジオポノック制作の「小さな英雄—カニとタマゴと透明人間—」(18)の一篇「透明人間」でも監督を務め、第22回文化庁メディア芸術祭アニメーション部門新人賞を受賞。宮崎駿監督の最新作「君たちはどう生きるか」(23)では原画を担当した。

## 武重 洋二（たけしげ ようじ） 美術監督

1964年、フィラデルフィア生まれ。多摩美術大学油絵科中退。

「となりのトトロ」(88)の背景でジブリ作品に初参加。その後、数々のジブリ作品の背景を担当し、短編「On Your Mark」(95)では初の美術監督を務める。その後も「もののけ姫」(97)、「ホーホケキョ となりの山田くん」(99)、「千と千尋の神隠し」(01)、「ハウルの動く城」(04)、「ゲド戦記」(06)、「借りぐらしのアリエッティ」(10)、「風立ちぬ」(13)と美術監督を歴任（共同を含む）。23年公開の宮崎駿作品「君たちはどう生きるか」にも美術監督として参加した。

他の参加作品として「王立宇宙軍オネアミスの翼」(87)、「機動警察パトレイバー劇場版」(89)、「攻殻機動隊」(95)などがある。「サマーウォーズ」(09)では美術監督として第9回東京アニメアワード美術賞を受賞した。

## 吉田 昇（よしだ のぼる） 美術監督

1964年、島根県生まれ。多摩美術大学油絵科を卒業後、デザインオフィスメカマンに入社。アニメーションの背景の仕事をはじめめる。

その後フリーになり、「もののけ姫」(97)でスタジオジブリ作品に初参加。「ホーホケキョ となりの山田くん」(99)、「千と千尋の神隠し」(01)では美術監督補佐。「ギブリーズ episode 2」(02)、「ハウルの動く城」(04)、「崖の上のポニョ」(08)、「借りぐらしのアリエッティ」(10)、「コクリコ坂から」(11)、そして三鷹の森ジブリ美術館オリジナル短編作品「コロの大さんぽ」(01)、「毛虫のボロ」(18)では美術監督を務め（共同を含む）、「風立ちぬ」(13)、「思い出のマーニー」(14)、「君たちはどう生きるか」(23)では背景美術を担当した。「崖の上のポニョ」で第8回東京アニメアワード美術賞を受賞。

## 齊藤 睦志（さいとう ちかし） 編集者・クラフトワークス代表取締役

1966年、秋田県生まれ。編集プロダクションのスタジオ・ハードを経て、2004～14年まで、スタジオジブリ出版部に在籍。編集者として、『男鹿和雄画集Ⅱ』、『ジ・アート・オブ かぐや姫の物語』（いずれも徳間書店刊）、『スタジオジブリ レイアウト展 図録』、『館長 庵野秀明 特撮博物館 図録』（いずれも日本テレビ刊）などを担当。16年、株式会社クラフトワークスを設立。『ジ・アート・オブ シン・ゴジラ』（グラウンドワークス刊）、『ディズニーアート展 図録』（日本テレビ刊）、『宮崎駿とジブリ美術館』（岩波書店刊）、『ジ・アート・オブ 君たちはどう生きるか』、『ジブリパーク公式ガイドブック』（いずれも徳間書店刊）など、映画、アニメーション、アート関連書籍の編集・執筆などを手掛ける。

## 押山 清高（おしやま きよたか） アニメーション監督・スタジオドリアン代表取締役

1982年福島県生まれ。ジーベックで原画デビューしマッドハウスにて「電腦コイル」(07)で作画監督を経験。その後もスタジオジブリ作品をはじめ、ボンズ、カラー、シンエイ動画、サイエンスサル SARU、プロダクション IG など様々なスタジオでアニメーション制作に携わる。「スペース☆ダンディ」(14)では脚本、演出にも仕事の幅を広げ、16年には「フリップフラッパーズ」で監督を務める。17年にアニメーション制作会社の株式会社ドリアン（スタジオドリアン）を設立し、「SHISHIGARI」(19)、「ルックバック」(24)を監督。

著書に『作画添削教室 神技作画シリーズ』『押山式作画術 神技作画シリーズ』（いずれもKADOKAWA刊）がある。

## 井上 俊之（いのうえ としゆき） アニメーター

1961 年大阪府生まれ。大阪デザイナー学院卒業後、スタジオジュニオ、フリーランスを経て現在はスタジオジブリ所属。「AKIRA」(88)、「GHOST IN THE SHELL/攻殻機動隊」、「MEMORIES」(ともに 95)、「千年女優」(01)、「スカイ・クロラ The Sky Crawlers」(08)、「おおかみこどもの雨と雪」(12)、「百日紅～Miss HOKUSAI～」(15)、「鹿の王 ユナと約束の旅」(22)、「ルックバック」(24)などの劇場用作品に参加。

スタジオジブリ作品は「魔女の宅急便」(89)に原画として初参加、宮崎駿監督の最新作「君たちはどう生きるか」(23)では原画を担当した。

著書に『井上俊之の作画遊蕩』(KADOKAWA 刊、24)など。

## 高瀬 康司（たかせ こうじ） アニメーション研究・批評

1980 年生まれ。編著に『アニメ制作者たちの方法——21 世紀のアニメ表現論入門』（フィルムアート社刊、19）、『井上俊之の作画遊蕩』（KADOKAWA 刊、24）。毎日映画コンクールをはじめ各種アワードや映画祭・イベントで、審査員やプログラムディレクターなどを務める。東京都立大学非常勤講師。

### 【ご受講について】

#### ●お申し込みについて

お申し込みは、講座の前開館日 11 月 24 日（日）午後 5 時で締め切ります。当日のお申し込みは受け付けません。（先着制。定員に達し次第受付終了。）

お申し込みが完了した方には、自動返信メールが届きます。

受講生への案内は、メールで行います。必ずご確認ください。

#### 【初めて受講する方へ】

・教室受講：三鷹ネットワーク大学での受講が初めての方は、新規受講者登録を事前に行ったのち、講座にお申し込みください。以前に登録した受講者番号やパスワードがご不明の場合は、お問い合わせください。

詳細 <https://www.mitaka-univ.org/kouza/jukou.html>

・オンライン受講：Peatix が初めての方は、Peatix アカウントを作成し、講座にお申し込みください。

詳細 <https://www.mitaka-univ.org/kouza/online.html>

#### ●受講料のお支払いについて

教室受講：講座の初回に窓口でお支払いください（電子決済または現金）。

オンライン受講：Peatix の案内に沿って事前にお支払いください。

#### ●受講のキャンセルについて

講座申し込み後にお客様の都合により受講をキャンセルする場合は、至急事務局まで電話でご連絡ください。

#### ●受講資格について

受講は原則としてお申し込みされた本人のみとさせていただきます。お申し込み及び受講料の支払いの確認がとれない場合、参加をお断りします。

#### ●オンライン受講について

・メールアドレス及びパソコン等のデバイス、インターネット視聴環境がご自身で準備できることが条件です。

・お客様の通信状況等により視聴できない場合、責任は負いかねます。

・見逃し配信等はいりません。

・オンラインの画面を撮影等記録することは禁止します。

・状況により、動画や音声がかかる場合があります。ご了承ください。

・投影資料や、質疑応答等は、会場参加者限定とする場合がございます。ご了承ください。

#### ●お申し込み時に頂く個人情報、協力団体と、講座で必要な範囲で、使用することがございます。同意の上お申し込みください。

#### ●講師や他の受講者の方にご迷惑をかける行為があった場合は、受講をお断りすることがあります。

#### ●講座の撮影・録音・録画、資料の再配布等は禁止です。